

なぜ?

碧南市民病院

施設の不備が浮き彫り

コロナ感染12人。大部屋 4人死亡

共産党が一般質問で検証

6月15日、日本共産党山口はるみ議員は、市民病院を守るために一般質問を行いました。

3月31日救急搬送で入院した80歳男性が、新型コロナウイルスに感染しており、4月5日PCR検査の結果陽性判明まで、碧南市民病院には4日間入院していました。4人部屋同室の2例目の方は4月6日陽性判明。5例目は4月13日に陽性判明。7例目は隣の4人部屋の方で4月17日陽性判明でいづれも感染病院へ転院後、死亡されました。

6例目は同室で4月14日陽性判明70歳代の男性は、一命を取り留めました。

コロナがまん延している中、早期の検査や万全を期して個室に入院させるなどがされませんでした。

感染対応は充分だったのか

3例目の看護師と4例目の医師は、一番初めの患者と濃厚接触。8日に、陽性判明。自宅待機後10日から21日まで11日間、碧南

	入院期間		感染者	
1例	3/31-4/5	4日間	80歳男西尾	死亡
2例	3/31-4/6	6日間	80歳男碧南	死亡
3例	4/10-4/21	11日間	看護師40歳女碧南	
4例	4/10-4/21	11日間	医師30歳男刈谷	
5例	4/6-4/13	7日間	90歳男西尾	死亡
6例	4/6-4/14	8日間	70歳男西尾	
7例	4/6-4/17	11日間	80歳男碧南	死亡
8例	4/21-	大府に入院	20歳女刈谷	看護師
9例	"	"	20歳女碧南	看護師
10例	"	"	30歳女西尾	看護師
11例	"	"	30歳女碧南	看護師
12例	"	"	30歳女碧南	看護師

市民病院に入院していました。市民病院大部屋に1人で入院。トイレもシャワーもなため特別個室のトイレとシャワーを2人利用していたようです。

こうした対応が、4月20日以降8例、9例、10例、11例、12例と陽性判明後、大府の軽症者受け入れ施設に入院となったので

リニューアルの遅れが致命傷

碧南市民病院は開院後32年経過。2019年度予算でリニューアルを3年かけて行う予定でした。ねぎた市長は、9月の国の公的公立病院統廃合計画に、立ち向かうどころか、いっぺんに腰が引けて計画1年遅れを勝手に強行しました。さらにコロナで計画再見直し、目標年次も示せない状況です。

共同・狭いトイレ解消、減圧機付感染専用病床を

感染患者は、感染症指定病院に入院することになります。しかし、県内で72床しかありません。碧南市民病院に入院した場合、陽性判明まで時間差は必然です。そのための感染患者専用病床やトイレシャワー付き個室、感染患者専用動線の確保が必要となります。

予定通り、リニューアルを進めていたら、現在の狭いトイレや、共同トイレを各室ごとにすることもできたでしょう。

減圧機たった1機のみ

エレベーターも感染者共用

6月議会の補正予算には、簡易陰圧装置の設置補助金が1296万円がつけました。これは、国の補助100%で3施設分です。コロナ感染が疑われる方が出たとき、気圧を低くして外気に漏れないようにする

陰圧室を設置するためダクトも含め、1施設432万円です。ひまわり特別養護老人ホーム、同老人健康保健施設、養護老人ホームの3カ所から申請がありました。

ところが、市民病院では、減圧機は1機のみ。熱患者用屋外テントも、防災用にあつたもので減圧機はついていません。当局はエペレーターが頭の上にあるといっていますが、感染患者が出た場合には隔離も陰圧室もない状態では、院内感染の危険は広がります。エレベーターもベットの用、来客用と3基のみ、他病院では、職員用確保がされておりせめてあと1基は感染・非感染の動線確保には欠かせません。

2波3波の対策を早急に

「費用対効果」を卒業し、次への対策を急ぐべきです。

パワハラ医師対策にほうかむり

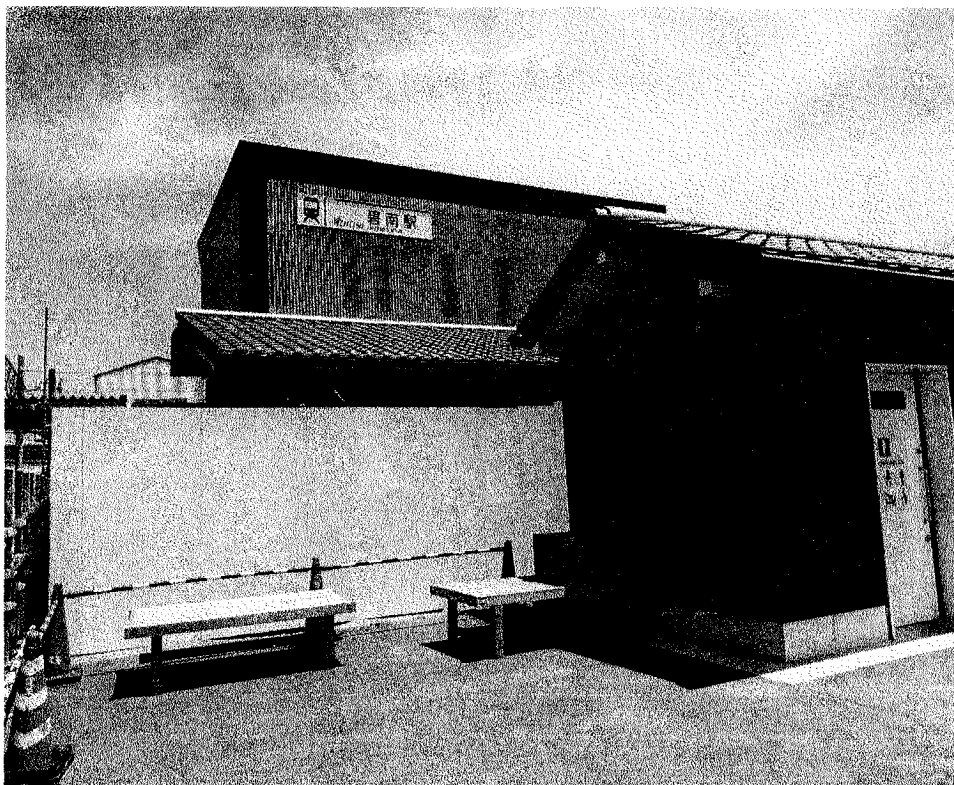
コロナ対策で、大変な思いをしているさなか、碧南市民病院では、歯科口腔外科でパワハラ問題が再び発生しています。

平成19年から、歯科口腔課部長によるパワハラが続き、市から退職に追い込まれたと逆提訴され市が敗訴。2017年8月17日臨時議会では5243万円の賠償金を支払いました。

しかし、また同様の状況が発覚。被害者の医師は大学医局に転院を希望し岡崎市民病院に6月から就職しました。

その後も、パワハラは改善されず、研修生がメンタルに支障をきたしている状況です。日本共産党は「パワハラ委員会を開き再発防止に努めると議会に約束したはず」と叱責。市長は、状況を知っているのかいないのかも答えず、ほうかむりしました。新美交陽議長は、質疑を妨害。これではチェック機能も果たせません。

碧南駅待合所9月からオープン



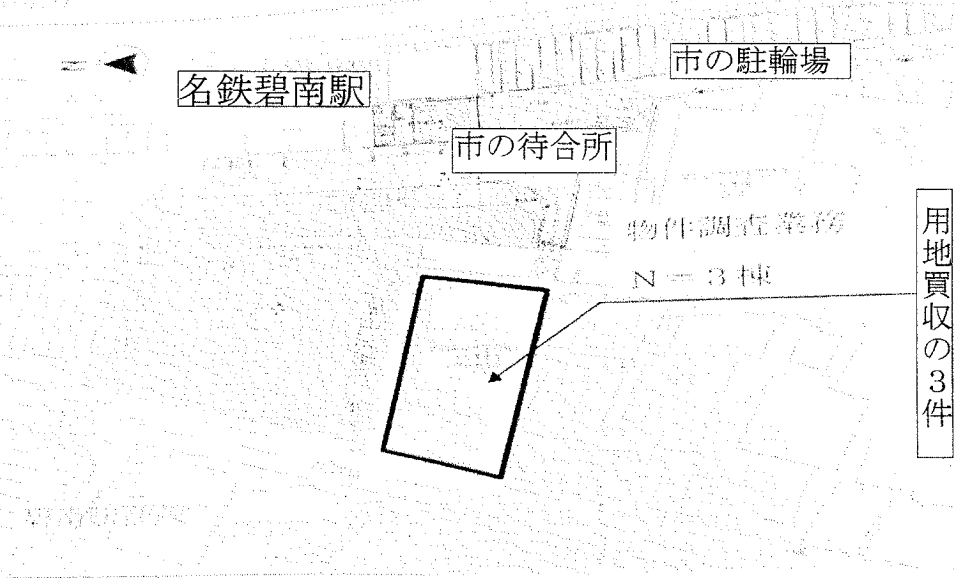
共産党イス設置を名鉄に要望

6月議会では、碧南駅待合所の設置条例が提案されています。ねぎた市長が、名鉄敷地に市税を投入して設置したものです。9月開所、午前6時から平成26年度、日本共産党と市民が「碧南駅にトイレ」と運動し、850万円で写真手前の立派なトイレができました。ところがわずか6年で、解体することになります。県の補助金148万円の半分90万円を返還します。日本共産党は、駅舎の建て替えを名鉄が行う中で、いすなど設置すれば、市の待合所を設置せず、現在のトイレも利用できる、名古屋市の名鉄本社に出かけ交渉しました。

名鉄は、イス設置を拒否し、市にゆだねたのです。

無人で午前6時から午後11時まで

この場所は無人で、午前6時から午後11時まで力ギは自動で閉まります。



日本共産党は、駅前の空き家利用の地域のたまり場が駅前道路の拡張で立ち退きとなってしまおうので新たな、お土産物や観光案内、カフェなどに利用するように提案します。

ロータリーは2023年完成予定

6月補正予算には、駅前ロータリーの用地拡張に、愛知県中央信用組合と民家2軒の用地買収の調査委託のための1703万9千円が計上されました。もともと、名鉄敷地、愛知県の県道整備を市がもらい受けての大サービスです。

市長の地元優先は「費用対効果」の例外事業として進められています。

駐輪場に屋根と車輪留めを

現在の、駐輪場と待合所南側を交換、駐輪場を設置する計画です。ここまです、名鉄奉仕なら、市民のための駐輪場の屋根設置や、自転車転倒防止の車輪止め設置を、日本共産党は求めます。

戦争法廃止・安倍改憲 発議許すな 19日行動
7月19日(日) 午前11時~12時
ヤマナカ前にて

市民病院は感染対策としてすべての個室にトイレを、部屋ごとのトイレを!!
4人部屋は、コロナ対策中2人部屋で3密回避を!!

日本共産党碧南市委員会





市議会議員 市議会議員 市民運動部長
山口はるみ 岡本守正 磯貝明彦
☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718
三度山町 2-70-4 笹山町 6-29 若松町 3-253

碧南市民病院の個室の状況

区分	日金額	仕様	部屋数
特室	A	バス・	6室
	B	トイレ付	22室
個室	A	トイレ付	33室
	B	トイレなし	8室
合計			69室